



JOGMECの情報提供サービスについて

JOGMECの情報収集・分析・提供事業
-平成18年度実績/19年度計画-

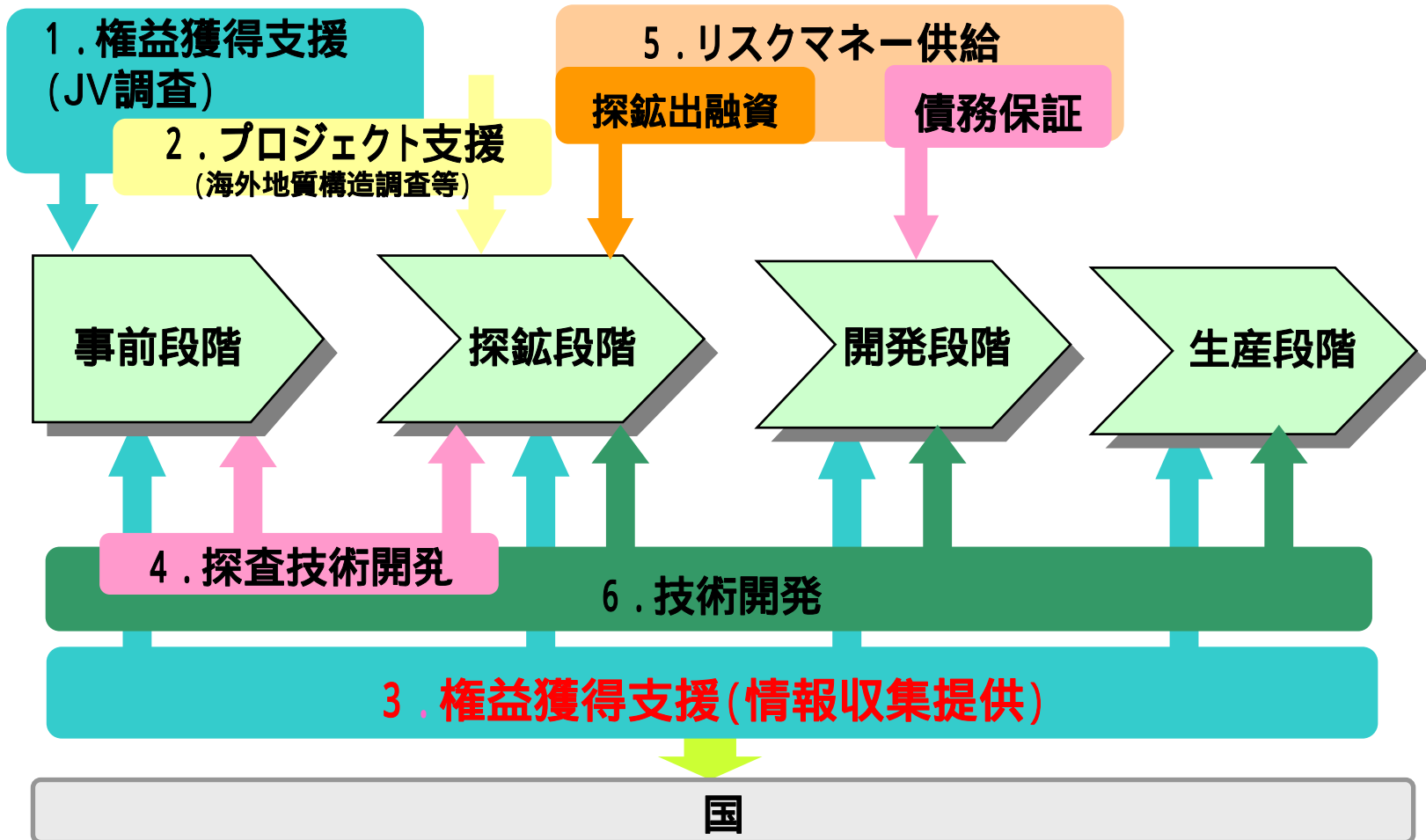
平成19年5月31日
金属資源開発調査企画グループ
企画チーム 安達 直隆

独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

1-1. JOGMECの金属資源開発支援制度

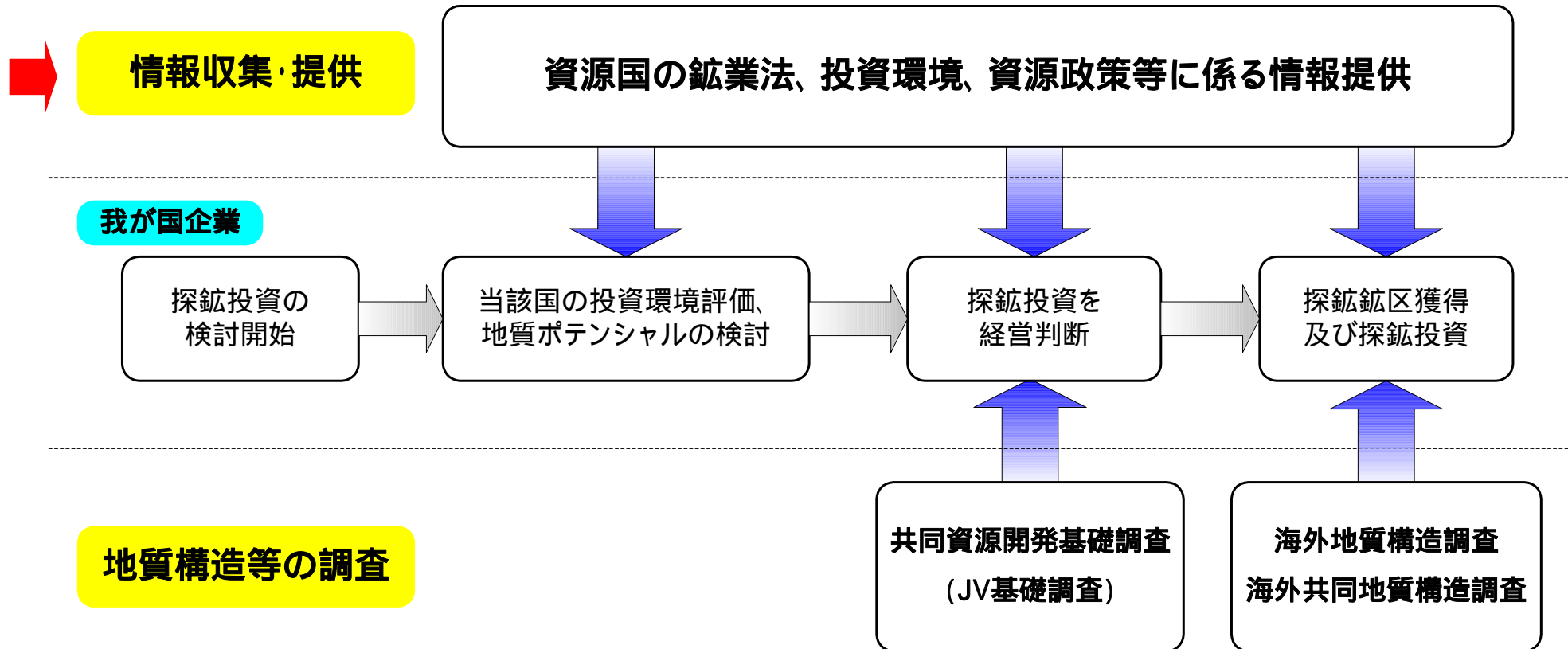
JOGMECのミッション

- ・海外資源国における我が国企業の資源権益確保・自主開発輸入拡大のため探鉱プロジェクトの形成から探鉱・開発・生産の各段階における支援を実施。
- ・循環型社会形成のために金属製錬技術等を活用した技術支援を実施。



1-2 金属資源開発における情報サービスの位置づけ

- 非鉄金属鉱物資源の探鉱開発を戦略的・効果的に支援して、我が国への資源の安定供給を図る。このため、**関連情報の収集及び地質構造の調査等により、質の高い情報提供と優良な探鉱案件の発掘を行うことで、将来的に我が国企業等が参加した鉱山開発が実現するような支援**を重点的に実施。



平成18年度JOGMEC情報サービスの重点項目

(1) プロジェクト形成支援のための戦略的情報収集・提供 :

投資環境調査、 鉱業事情調査、 非鉄メジャーの動向調査、 持続可能な資源開発調査

(2) 鉱物資源分野の人材育成に関する支援:

人材育成研究会、 資源開発基礎講座、 大学との連携、 資源開発入門テキスト作成

(3) 計画的かつ着実な情報発信;

メールマガジン、 ホームページ・データベースによる情報提供、 金属資源レポート、 カレントトピックス、 ニュースフラッシュ、 クォーターリーレビュー

(4) 資源情報収集のための海外ネットワーク強化

(5) 情報提供・機構の活動への理解促進のための成果報告会・セミナー等の積極的な実施

投資環境調査

中長期的に我が国企業の新たな探鉱等投資対象国となりうる12カ国について海外事務所を中心に調査結果を取りまとめ。

「鉱業の趨勢」(1977年から)

我が国企業の海外における鉱山開発を支援するための一環として、鉱産国における鉱業等に関する前年度の情報を取りまとめたもの。平成18年度は、我が国企業が関心を有している国・地域や最近注目されているアフリカ諸国を対象国に追加し53ヶ国について情報提供。

「非鉄メジャーの動向調査」(1998年から)

非鉄企業の企業戦略及び動向を分析することを目的として、非鉄メジャー企業25社(従前20社)を対象として各社の年次報告をベースとして企業概要、事業内容、探鉱戦略等について取りまとめ。

「マテリアルフロー」(2005年から)

鉱物資源48鉱種(従前40鉱種)について、原料確保形態、加工・製品化、リサイクルの流れを定量的に分析したマテリアルフローを取りまとめたもので、データのアップデートを実施。

「メタルマイニング・データブック」(2005年から)

ベースメタル及びレアメタル48鉱種を対象として、各鉱種の一般的性状等基本事項、需給動向、生産・開発動向や、主要鉱産国の経済状況等非金属鉱業関係のエッセンスを網羅した基礎的資料集を取りまとめ。

平成18年度実績概要

- ・プロジェクト形成のための戦略的情報収集の拡充実施。計画的かつ確実な情報発信を推進、体系的に各方面に情報提供を行う情報プラットフォームの基礎整備を完了
- ・資源関連民間企業等の要請により、ニーズに応じた派遣講座を開始

- ・企業の探鉱開発戦略策定、政府の政策策定に寄与
- ・アンケート調査で9割強の肯定的評価を獲得



豪州の鉱物資源探査と投資セミナー

(H19.2月)

平成18年度実績



非鉄金属のしおり

中期目標・計画のポイント

- ・資源国の資源事情に係る重点調査の実施。
- ・円滑な海外の探鉱・開発事業に資する各種基礎的情報の収集・発信。

- ・**資源国調査**： 投資環境調査対象国を12ヶ国に拡充(前年10ヶ国:ベトナム、ポリビア、タンザニア等)し実施、我が国企業による海外探鉱開発戦略策定に貢献。
- ・**海外主要非鉄企業調査**： 非鉄メジャー調査対象企業を25社(前年20社)へ拡充、企業戦略・開発動向等重点的調査を実施。また、四半期毎の「クォーターレビュー」発行により、動きの早いIM&A等企業動向をフォロー。
- ・**情報発信**： メール配信サービスの登録者数が18年3月末約800人から19年度末約1,700人に拡大、成果発表会(毎月開催:延べ500名が以上が参加)、刊行物等の情報発信を計画的かつ確実に実施し顧客数が増加。
- ・**一般向けテキスト資料の作成**： 非鉄金属の用途、特性や探鉱開発技術、資源政策のテキストとして「しおり」3部作を作成、東北大学他6大学、企業5社で教材として活用された。
- ・**講演会・投資セミナー**： 成果発表会、企業動向、需給動向、資源国投資環境等セミナーを18回主催、延べ853名が参加。
- ・**ホームページによる情報提供**： コンテンツ全面見直し等によりアクセス件数が対前年同期比36%増。
- ・**派遣講座の開始**： 企業等の強い要請を受けて商社非鉄金属部門、電子情報技術産業協会、非鉄金属ユーザー企業、JICA等の要請に応じ派遣講座を8回実施。

平成18年度実績概要

・海外事務所の一層の活用、国際会議での広報・講演、有力者招聘、チリ銅委員会との共同セミナー定期開催の基本合意書締結等により資源国との情報収集及び人的ネットワークを構築

⇒ JOGMECのJV調査案件形成及び我が国企業によるレアメタル・ベースメタル探鉱開発プロジェクト形成・推進に寄与

・ボリビア大統領等資源国の訪日要人とJOGMECとの面談を積極的に実施 ⇒ 我が国の資源外交を支援



ボリビア・モラレス大統領と面談する
掛札理事長(平成19年3月)

中期目標・計画のポイント

・我が国企業等によるプロジェクト形成支援を目的とした資源国とのネットワーク構築と鉱物資源関連重点調査の実施。

平成18年度実績

(1) 国際会議での広報・講演等

中南米、アジア、アフリカ、豪州、カナダ等の12件の鉱業関連国際会議でブース出展による広報、講演やボツワナ鉱物エネルギー大臣等要人との面談を実施し情報収集及び人的ネットワークを強化(18年5月～19年3月)。

(2) 海外事務所の一層の活用

海外事務所との連携の下、国際会議での広報等への対応を強化、また、各海外事務所での海外コンサルタントのリテイン化により情報収集体制を拡充。中長期的に我が国企業の投資対象となりうるアフリカ等諸国の投資環境調査を実施。

(3) 有力者招聘:チリ銅委員会ティトルマン副総裁を招聘、講演会を主催。チリ鉱業事情につき、意見交換・情報提供し、我が国企業によるプロジェクト形成を側面支援(19年3月)。

(4) 資源国訪日要人等との面談

ボリビア・モラレス大統領、ウズベキスタン地質鉱物資源国家委員会議長、中央アフリカ外務大臣等の資源保有国の訪日要人がJOGMECとの面談を先方より希望(19年3月)。

平成18年度実績概要

- ・「資源戦略研究会」*の議論を踏まえ、「鉱物資源分野における人材育成研究会」を主催。人材不足問題を解消するアクションプログラムを政策提言

*「資源戦略研究会」:資源エネルギー庁長官の私的研究会

⇒ 国による人材育成策の策定を支援

- ・「資源開発基礎講座」開催及び「資源開発専門技術テキスト」作成に着手

- ・九州大学と人材育成特別講義開催のための基本協定締結

⇒ 資源開発関係者への基礎的事項の啓蒙普及、体系的専門技術情報 提供等により我が国の鉱物資源分野の人材育成に寄与



第3回資源開発基礎講座(平成18年12月)
資源機構職員による講義

中期目標・計画のポイント

・非鉄金属資源に関して機構が有する知見・情報を国に提供するとともに、これを踏まえた政策提言を行う。

我が国企業の資源探鉱・開発の推進に必要な情報提供を行う。

平成18年度実績

(1)人材育成研究会

産学界のキーパーソンから構成される「鉱物資源分野の人材育成研究会」を主催。18年10～12月に延べ8回の委員会(委員長:山富 二郎 東京大学大学院教授)を開催。探鉱開発プロジェクト形成のボトルネックとなっている鉱物資源分野の人材不足の現状認識、それに対する具体的な対策を検討。(財)国際資源大学校を活用した基礎及び実践技術に係る集中講義の実施、企業・JOGMECの特別講義、海外留学支援などからなるアクションプログラムをしてとりまとめ、国に対し政策提言を実施(19年1月)。

(2)資源開発基礎講座

資源開発全般の基礎的事項の情報提供を目的として前年度に引き続き、3回開催。延べ265名参加。講座テーマは参加者アンケートのニーズにより決定。「海外資源開発ケーススタディ」(18年10月)、「資源技術に関する専門的講義」(18年12月)、「海外のプロジェクトファイナンス事例」(19年3月)

(3)資源開発専門技術テキスト

資源開発の体系的専門知識習得のためのテキスト作成に着手。海外の大学の資源系講座のテキスト収集と資源素材学会と連携してコンテンツ検討等を実施。

【18年度までの取組み】

1 . プロジェクト形成のための戦略的情報収集

国別重点調査

企業分析

サプライサイド分析

デマンドサイド分析

SD調査

2 . 計画的かつ確実な情報発信の推進
3 . 資源情報のデジタル化等の推進
4 . 資源情報収集のための海外ネットワーク化
5 . 国民の理解を促進する成果報告会等の積極的な実施

【19年度の方向性】

1 . プロジェクト形成のための戦略的情報収集・提供(19年度重点)

- ・資源外交支援のための情報収集・提供；
- ・ウラン資源の権益獲得に資する情報収集
- ・国別重点調査の継続

2 . 資源情報収集・提供システムの強化(19年度重点)

- ・資源国との関係強化、情報収集推進のための海外ネットワークの強化を継続。
- ・情報提供サービスの一部有料化を導入

3 . 計画的かつ確実な情報発信の推進

ニュースフラッシュ、カレントトピックスの発行
 金属資源レポートの発行(隔月奇数月発行)

前年度 1 . 及び5 . のルーチン化

平成19年度JOGMEC情報サービスの重点項目

(1) プロジェクト形成・海外資源ビジネス展開の戦略的支援

投資環境調査(ナミビア、エクアドル、ミャンマー等を追加し調査)

資源外交支援のための鉱業法・税制等調査

ウラン資源の重点調査、

非鉄メジャーの動向調査

持続可能な資源開発調査

(2) 資源情報収集・提供システムの強化

資源情報ネットワークの構築

計画的かつ着実な情報発信

資源開発基礎講座等による人材育成支援

情報提供サービスの一部有料化の試行

3-3 今後のJOGMECが取り組むべき課題と対応方針

情報収集提供の質の向上

直接情報の収集強化

オリジナルの情報分析手法の検討

資源外交への対応

最新の資源国情報の提供・データベース化

主要資源国等の鉱業関連税制の継続モニタリング

主要資源国等の鉱業法全集の継続モニタリング

上記、の国際比較評価マトリックス整備

主要国資源外交情報の収集

金属鉱業情報サービスでの自己収入確保等

出版物の一部商業出版有料化を試行

講演会・セミナーの一部有料化を実施

隔月発行の金属資源レポートへの企業広告掲載

その他

・鉱物資源分野での人材育成継続支援。

・ウラン資源調査支援情報(19年度新規)収集・発信の強化

・HPの検索機能の更なる強化、情報プラットフォームの質の向上